

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	プラスチックごみ削減事業
事業主体 (連絡先)	松本市 松本市丸の内3番7号
事業区分	(5) 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,083,378円(うち支援金:2,321,000円)

事業内容

1 テイクアウト容器リユースシステム構築事業

テイクアウト用使い捨てプラスチック容器の廃棄量を削減するため、「アルパッケ」運営事業者と業務委託契約を締結し、市内でのリユース容器シェアリングサービスの事業化を図ったもの



【アルパッケ】

2 マイボトル利用促進事業

信州大学との連携により、マイボトル専用無料給水設備「アクアスポット swee」を市内5か所に追加設置(累計10か所)

また、無料でマイボトルに給水できる場所の目印となるロゴマークやステッカー、ポスターを作製



【アクアスポット swee】



【目標・ねらい】

事業効果

1 テイクアウト容器リユースシステム構築事業

業務委託期間中のアルパッケ利用回数=565回

▶ごみ削減効果: $30\text{g} \times 565 = 16,950\text{g}$

▶CO₂削減効果: $16,950\text{g} \times \text{排出係数 } 2.69\text{gCO}_2/\text{g} = 45,595.5\text{gCO}_2$

※1回の利用ごとに1個の使い捨てプラ容器を削減したと仮定

※使い捨てプラ容器を、同等容量の一般的な製品から30gと仮定

※CO₂削減効果は、削減したプラごみ焼却による部分のみを数値化

2 マイボトル利用促進事業

① 「アクアスポットswee」新規設置5か所の使用水量合計=6,696L

② R3年度設置5か所のR4年度分使用水量合計=17,050L

→R4年度使用水量合計(①+②)=23,746L

上記使用水量が、500mlペットボトルの購入から転換されたものと仮定

→ペットボトル47,492本分の削減に寄与

▶ごみ削減効果

$47,492 \text{本} \times 45\text{g} = 2,137,140\text{g}(2.1\text{t})$

※資源物も市の総ごみ量の積算を含む。

▶CO₂削減効果

$47,792 \text{本} \times \text{排出係数 } 0.082\text{gCO}_2/\text{本} = 3,919\text{gCO}_2$

2050 ゼロカーボンシティの実現に向けた、プラスチックごみを削減する様々な取り組みの展開による、市民の意識啓発

※自己評価【 B 】

【理由】

家庭系可燃ごみに占めるプラスチックごみの割合*は減少しており、市民の意識啓発に本事業が寄与したと考えられる。

*R3年度=19.8%

R4年度=13.8%

今後の取り組み

引き続き、テイクアウト用リユース容器の普及・促進及び「アクアスポット swee」の追加設置に取り組むとともに、プラスチックごみ削減に資する新たな事業の立ち上げを図るなどして、2050ゼロカーボンシティの実現に向けて邁進していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある